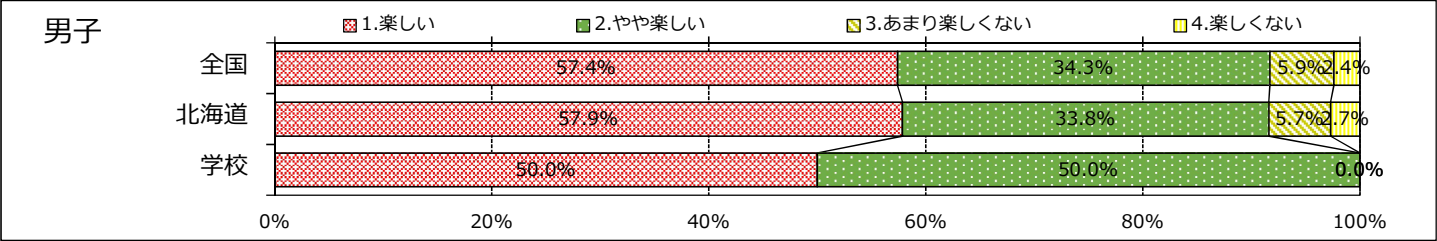
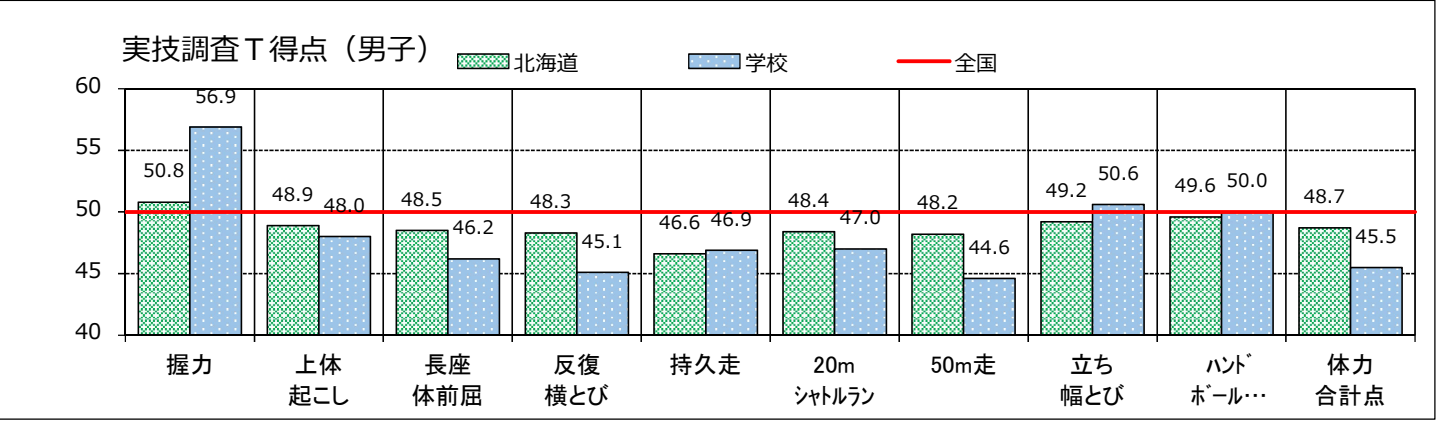


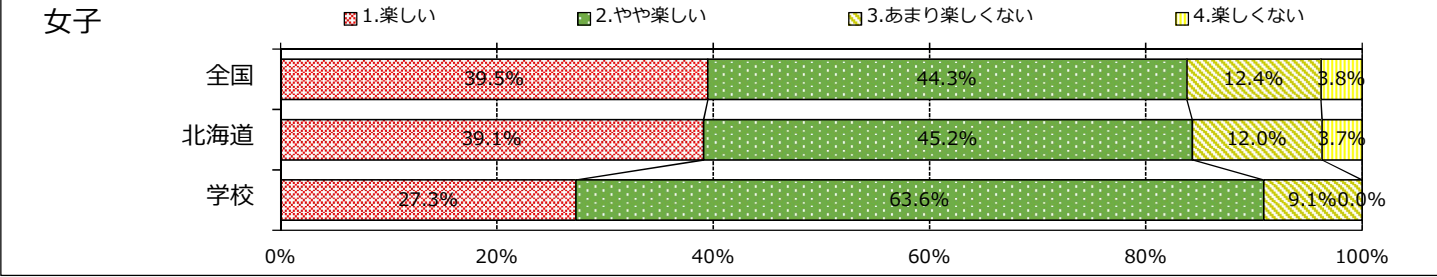
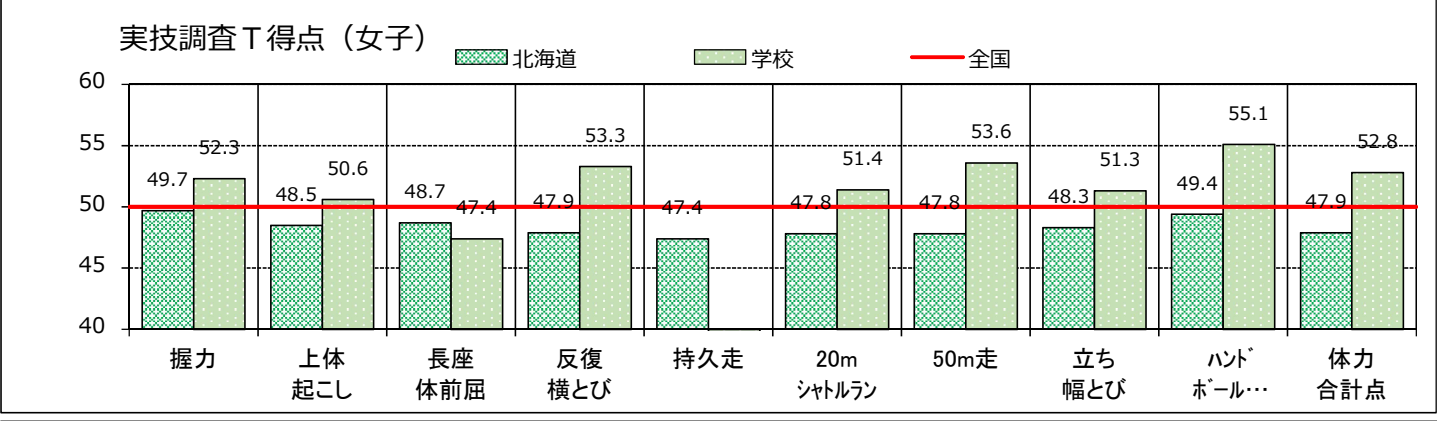
令和6年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査より

下のグラフは本校の今年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を示しています。グラフは、今年度の北海道平均・現中2の平均・全国平均の3種類を示しています。これらを分析し、今後の具体的な指導の改善に結びつけていきます。

<男子>



<女子>



～結果～

- 男子では、3 種目で北海道・全国の平均を上回った。しかし、全体的に北海道・全国の平均を下回っている。質問紙では、『保健体育の授業は楽しいですか』の項目で肯定的な意見が 100%に達している。
- 女子では、7 種目（長座体前屈以外）で全国平均を上回った。女子の記録が伸びた要因として、小規模校であるため普段から男子に混ざって体育を行っていることが考えられる。質問紙では、『保健体育の授業は楽しいですか』の項目に対して 90%以上の肯定的な意見が確認された。

※女子は 20mシャトルランを選択した。男子は基本的にはシャトルランを選択したが、休んでいる生徒がいたためその分は 1500m走で代用した。

～対策～

- 男子は課題が多いため、各単元で重点とする項目を定め、種目の特性とリンクさせながら能力を上げていきたい。
- 女子では柔軟性に課題があるため、授業の始めや終了時にストレッチ等を取り入れていきたい。
- 男女ともに保健体育の授業への意欲が高いため、お互いに能力を向上させる雰囲気のある授業づくりが大切だと考えられる